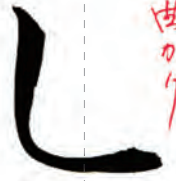
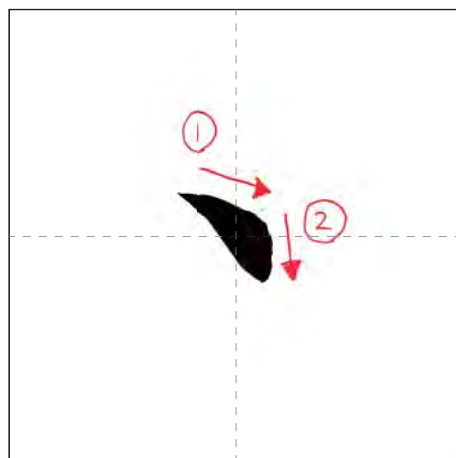


 はね①  はね②  はね③  はね④  はね⑤  曲がり	 折れ①  折れ②  折れ③  折れ④	 左はらい①  左はらい②  左はらい③  左はらい④  右はらい①  右はらい②	 横画①  横画③  縦画①  縦画②	 点①  点②  点③
---	---	---	--	---

点①

ポイント

目的地より浅い角度から始まる！
2段回でせめる！

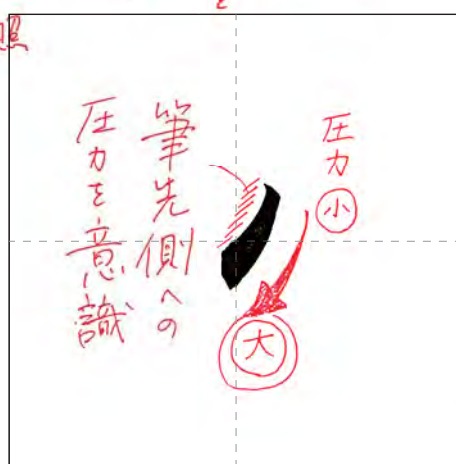


太く立派な点を打つには、頑張てゴールに向けて圧力を高めても意味がない。右横に一度寄り道すると筆が広がりやす。その移動先からゴールへいくのが太い点を書けるのです。(動画参照)

点②

ポイント

小さな点から外に(左に)向けてだんだん圧力をかける。



点③も使う

六

玉

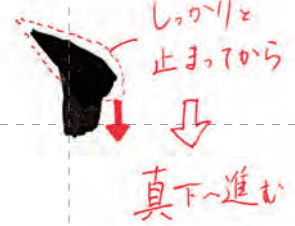
犬

字

点

心

点③



POINT

しっかりと止まってから
発進すること！

庄

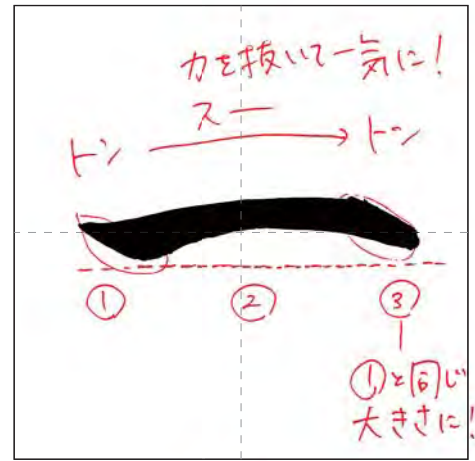
守

立

横画①

POINT

トン・スー・トンのリズム。右よりのゆるやかな山をつくろう。



NG

最後にドラムと置かず、出っ尻にならないように。
②「スー」の時、カを抜きすぎている場合も出てしまいがちです。
はじまりより最後の位置が下がらないように。
書き始めと並ぶか、小振り上がるくらいが良い。

横画②

POINT

上に向かって、そりながら圧力をかけていく！



右に向かっていても、山なりになっているとダメ。しっかり反ろう！

一

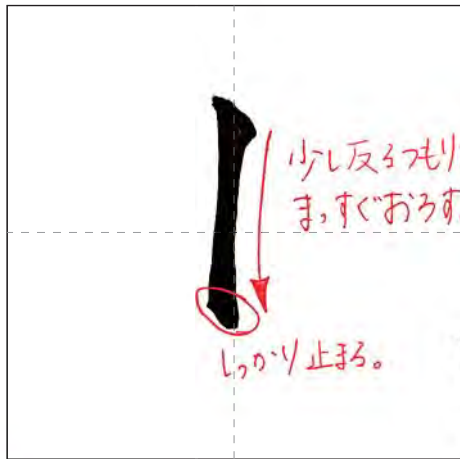
二

三

上

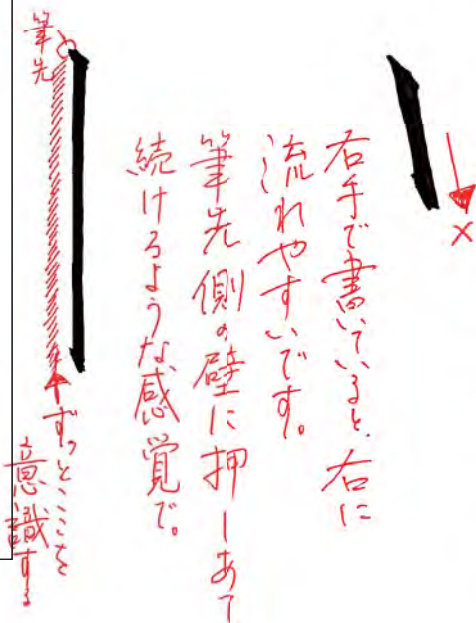
丨

丨



縦画①
POINT

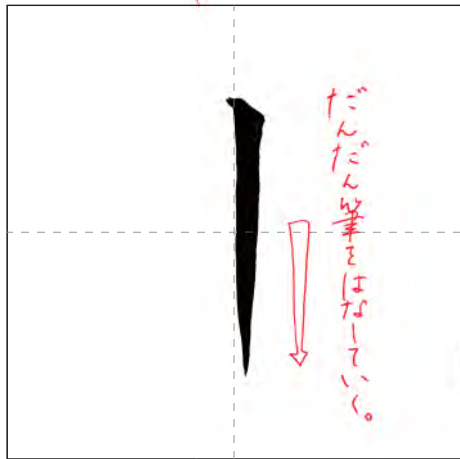
筆先側(左側)に意識を集中。
右に曲がってしまわないように！



年

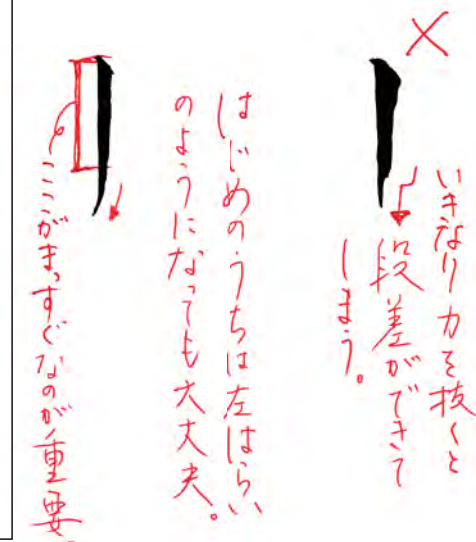
中

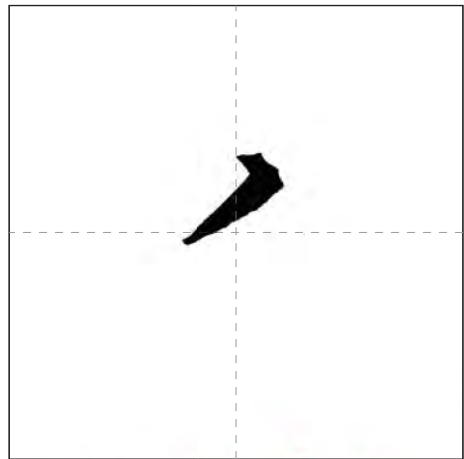
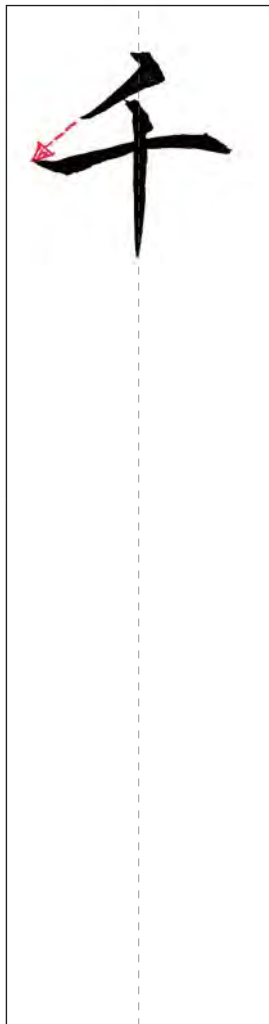
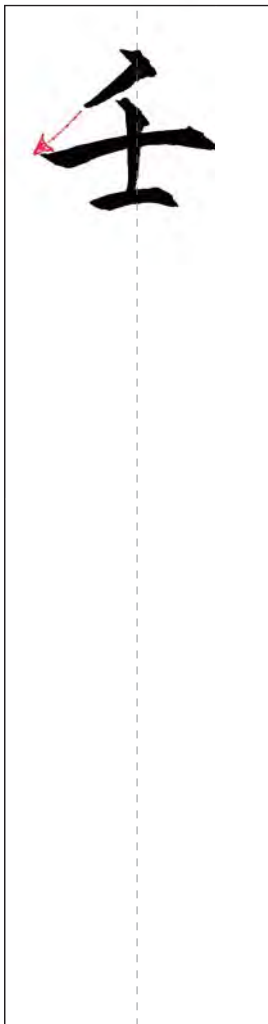
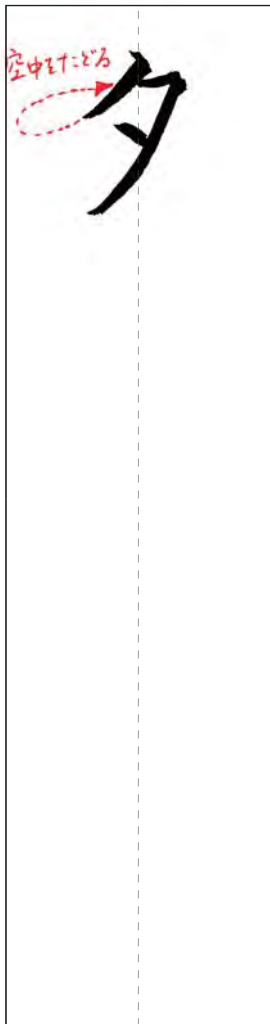
十



縦画②
POINT

飛行機が離陸していくイメージ。
だんだん紙からはなれていくように！



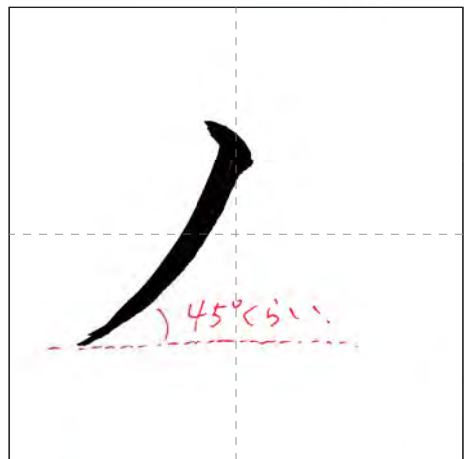
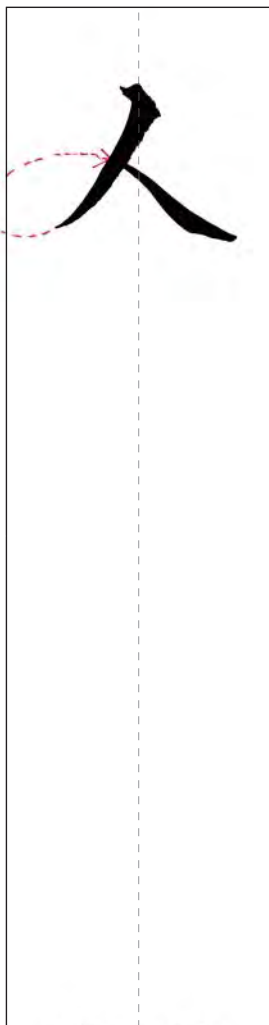
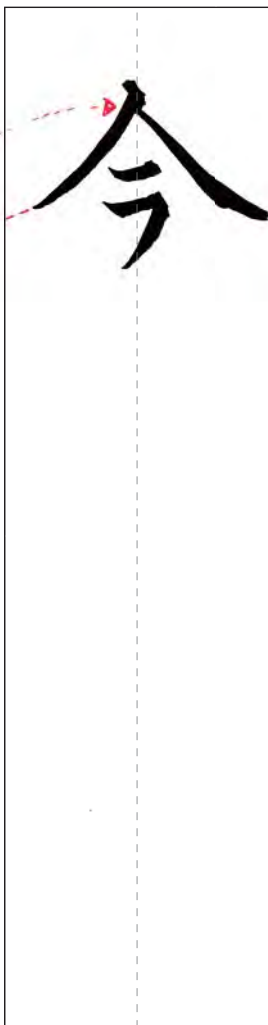
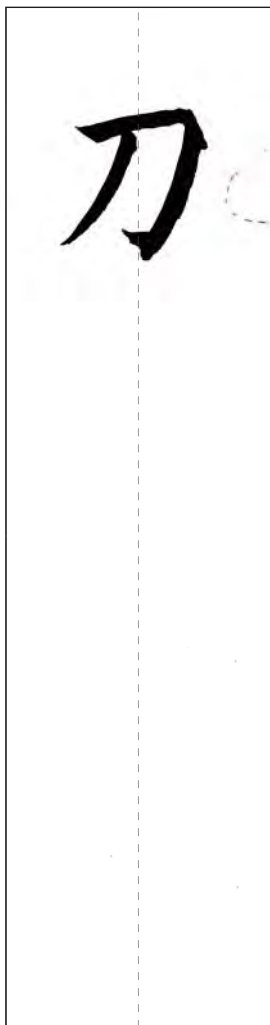


次の線に向かってはらう事で
筆脈のつながり美しい字に
なります。はらい①④は
それを意識して書きましょう。

へ左はらい①

POINT

すばやく空中にはらう。



指や手首で小さく
まわらないように。いつも
同じ長さや同じ角度
しか書けなくなって
しまいます。

へ左はらい②

POINT

手ごとしっかり動かす!!

へ左はらい③

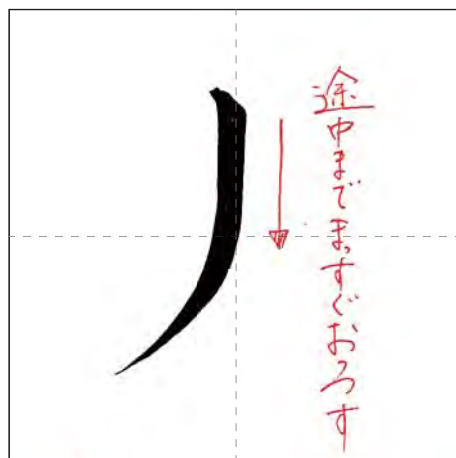
POINT

途中までまっすぐがマンする！

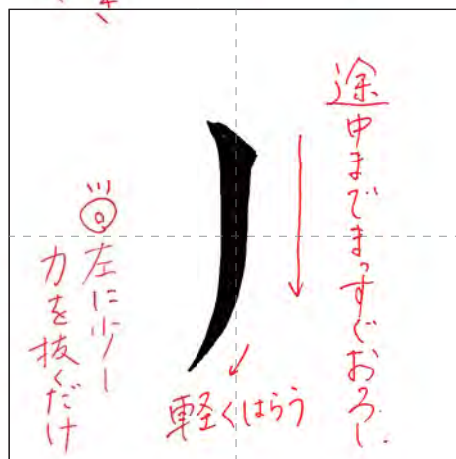
へ左はらい④

POINT

あまり大げさにはらわれないと。



貫いている横画や
間を通過するポイント等と
すねてから左にはらいます
↑はじめから左へ向かうと
真ん中に変な空間ができて
横画のすき間がつぶれて
しまう。



×月
↑はじめから左へはらうと
変に開いた字になる。
×月
↑おおげさにはらうと
邪魔で余分な線に
見えてしまう。

大

火

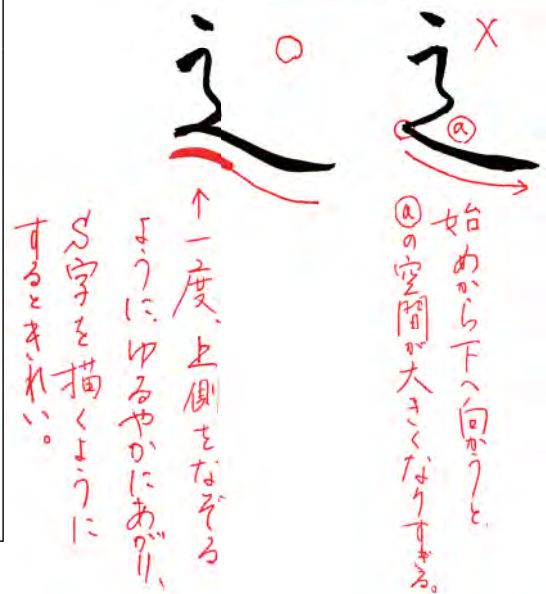
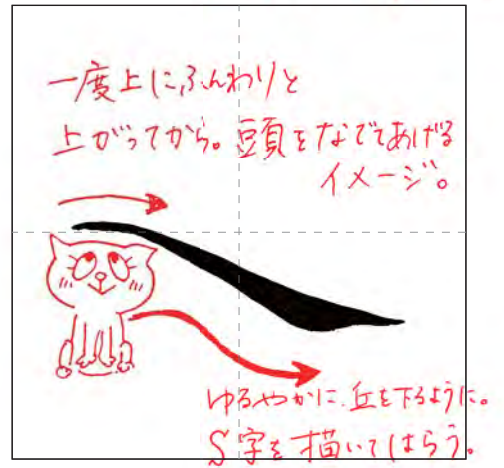
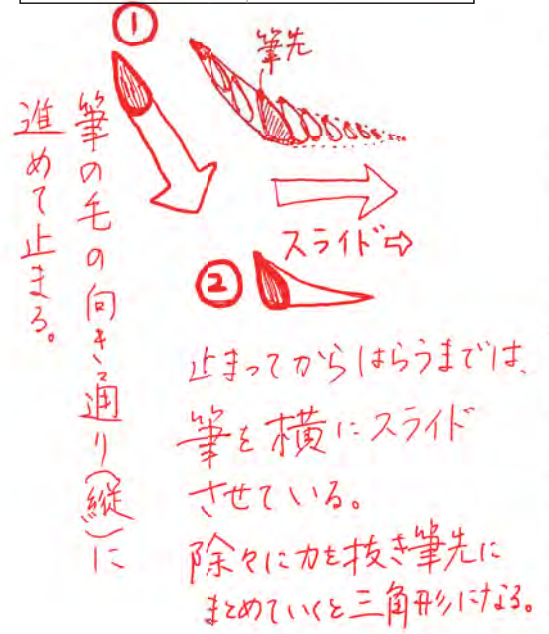
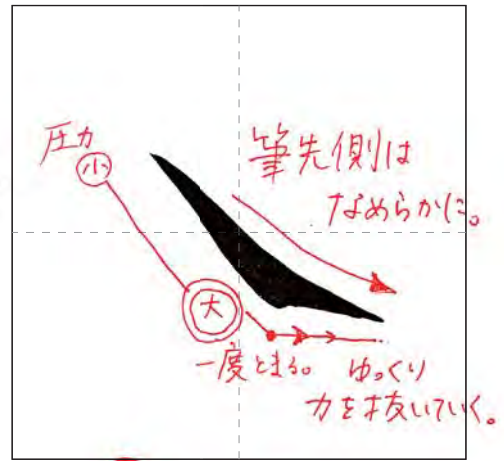
天

月

川

舟

へ右はらい①✓筆をつかう箇所、切りかえが大事、へ右はらい②✓一度上がってS字を書くこと。



辺

建

走

ハ

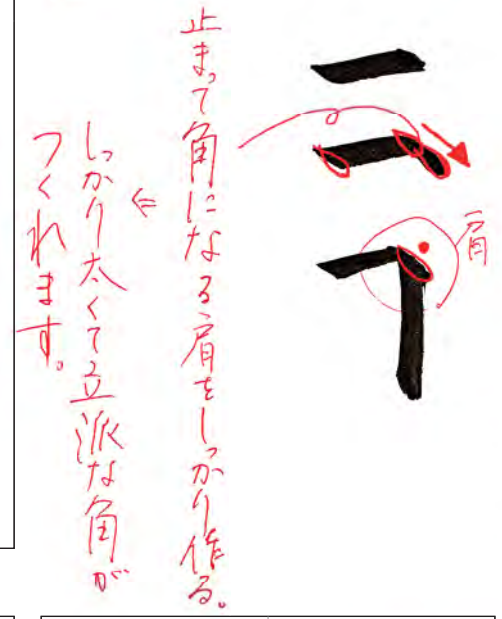
木

金

へ折れ①

POINT

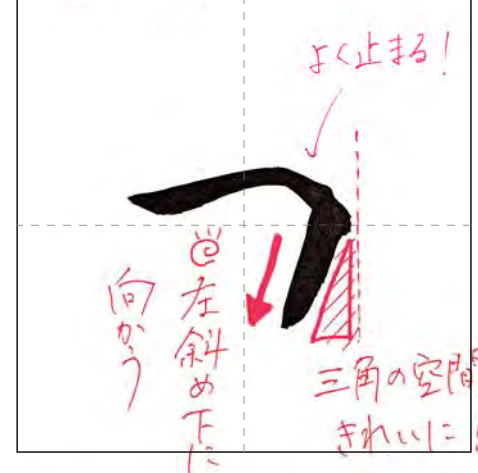
カブとい角を作るために
筆を斜め右下にすくって肩を作る。



へ折れ②

POINT

左なめ下の角度をしっかりとつける。



口のようは四角い形の字
だけでなく、
カ句尺 などでも
しっかり角度をつけられる
ようにしようね。
カ句尺
↑か、こわるい
でしょう?

日

目

具

口

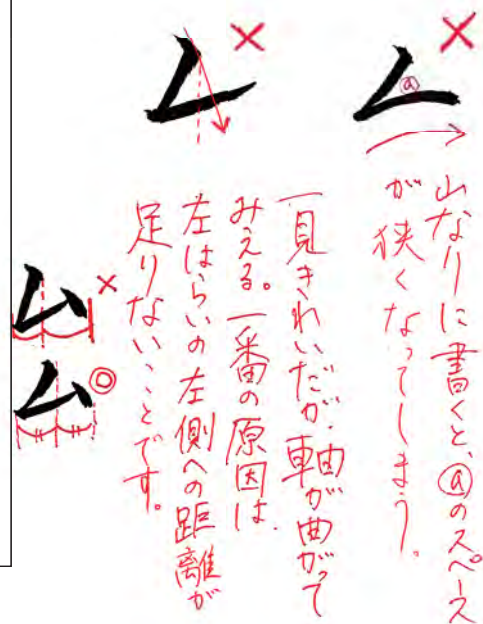
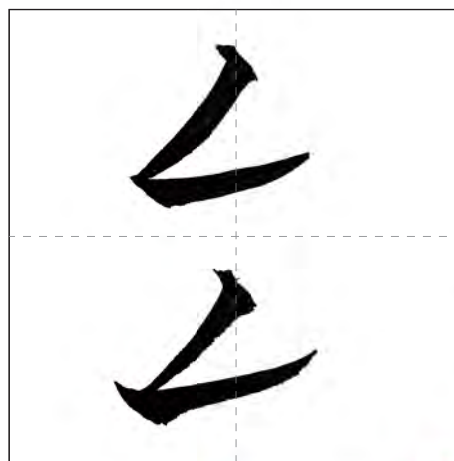
向

田

折れ③

POINT

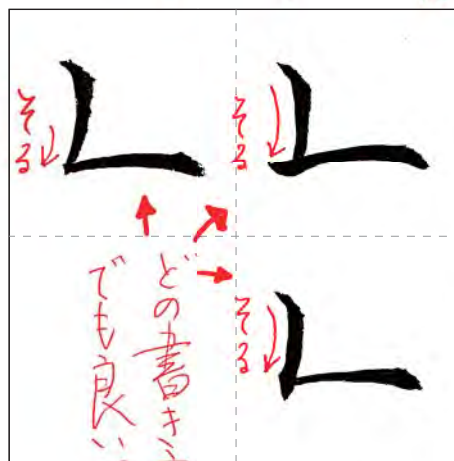
無理に折りかえす。
2段回に分けて書く。



折れ④

POINT

やりながら力を抜く。
2段回に分けてもOK!



ずと力をかけ続けていると、
折れのあたりがもつたりと
いづるさくなる。
どこを出すかは自由ですが
どうか力の抜き所を
つくろう。

去

台

系

山

区

世

へはね①

POINT

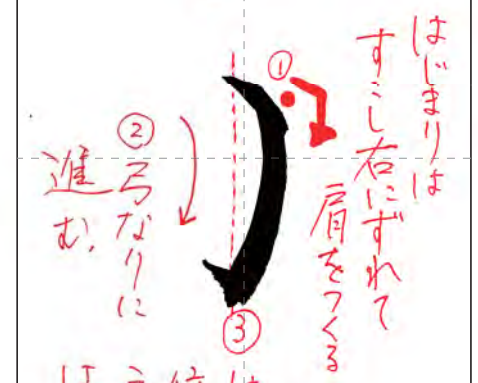
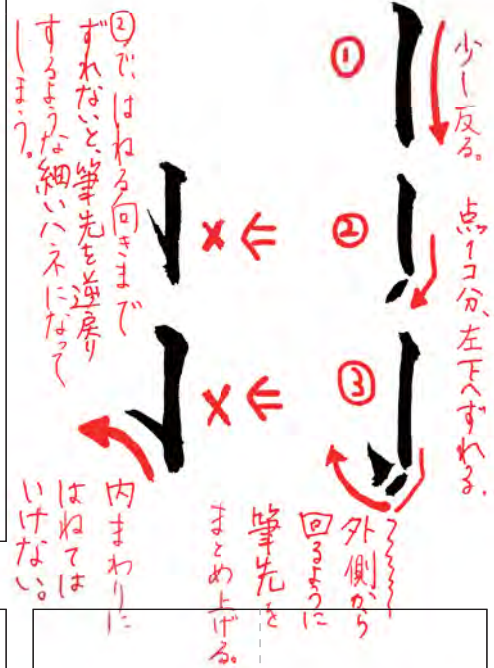
はねる前に
おしりをずらす！

へはね②

POINT

肩を作って中心に戻ってくる。

へはね



はね①のように
すねなくてもはねやすい。
角度に曲がっているので
はね単体では、こちら
の方が楽ですが、
肩なりに曲げることや
肩のつくり方が難技
です。

寸

水

小

手

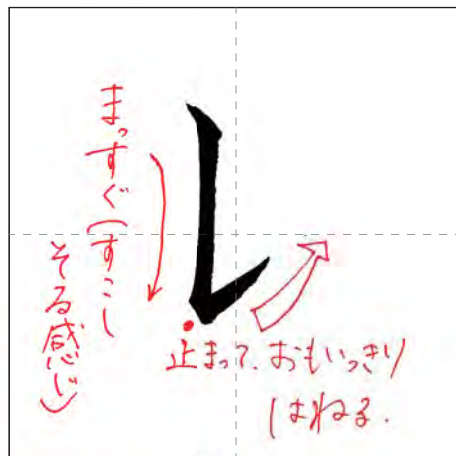
子

了

へはね③

POINT

おもいきって空中にはねる！

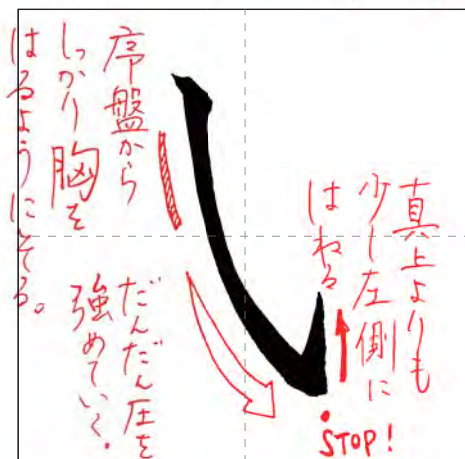


はね①より、ずっと簡単です。
たて画がまがらないように注意。
④⑤、つまり、書き始めと終わりの
そろっていることが大切。どんな縦画にも
言えることです。

へはね④

POINT

はいめからしっかり弓なりに！

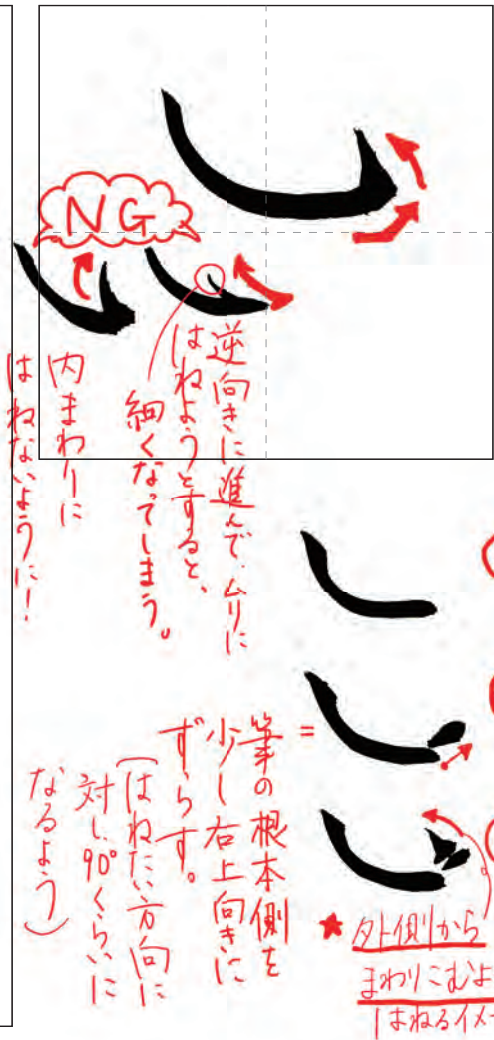


代し
代
最後に、いきなり曲がると
かこわるようになります。
アーチの頂点が真ん中にある。
アーチの頂点が真ん中にある。

必

志

心

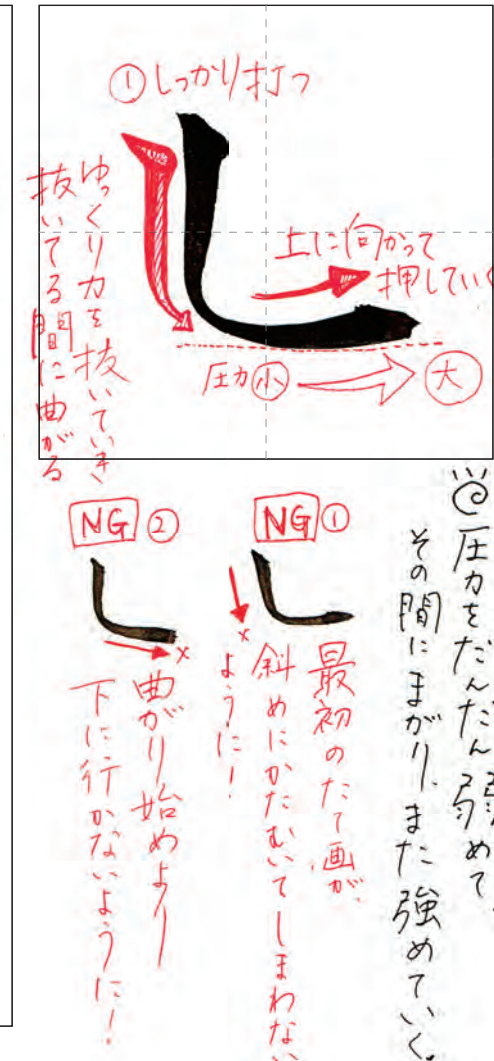


へはね ⑤
POINT
おいはねる前に
いりまひよ、とずらすこと

元

己

七



へ曲がり
POINT
力の緩急、とても大切。